

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

どの子どもみんな1等賞!!



大宜味幼稚園運動会

10月5日（日）、大宜味小学校体育館において、平成26年度大宜味幼稚園運動会が開催されました。元気に入場してきた20名の園児たち。

運動遊びでは鉄棒やとび箱やフラフープなど、園児たちは得意な運動もあれば、ちょっと苦手な運動もある中、どの種目にも力いっぱい挑みました。

特に竹馬遊びは守方おっちゃん（運転手の山城守方さん）考案の特製竹馬のおかげで今まではなかなか参加できなかった初心者の園児たちも竹馬に挑戦できるようになり、全員がすべての遊びにトライすることができました。園児たちの見事な成長ぶりに会場からも大きな拍手が沸き起こりました。



現場を見て、体験して力にする 琉大生、村内小学校支援ボランティア

9月25日（木）、琉球大学教育学部国語教育専修の学生14名が1日支援ボランティアとして村内の4小学校で1日先生体験をしました。

3年前から始まったこの活動。以前にも体験して少し様子のわかる学生もいれば初めてで緊張気味の学生も…。ともあれ、3～4名のグループに分かれ、各小学校へ出陣しました。

学校での仕事は授業だけだと思ったら大間違い。草刈りや畑の管理などの校内整備も大事な作業です。地道な作業も黙々とこなしてくれました。残念ながらすべての活動を見学することはできませんでしたが、授業のサポートや児童たちと一緒に食べる給食など、普段の勉強ではできない貴重な経験することによって大きな力をつけてくれたことと思います。

昨日の1日先生が、数年後には一人前の先生として大宜味村に戻ってくることを期待しています。



そんな大学生たちと触れ合いながら、勉強を覚えてもらうだけでなく学ぶことの楽しさを教えてもらえるのが学び舎あじまあのわくわくサタデー通称、“わくサタ”です。

7月末から始まったわくサタには現在40名あまりの大宜味っ子たちが登録。毎回5～10名くらいの子どもたちが琉大のお兄さん、お姉さんたちと一緒に勉強をしたり、遊んだりして楽しく過ごしています。

一人一人に寄り添い、子どもたちの特徴をみながら学習の方法を考えてくれるので、苦手だった科目や単元もだんだんとできるようになり、子どもたちも自信を持って取り組めるようになりました。

先生のとまごの学生さんたちですが、毎回試行錯誤しながら、大好きな大宜味っ子たちのため（自分たちのため）、新しい教材を作るなど奮闘しています。



これから受験を迎える中学生、高校生も現役の学生さんたちに勉強を教えたい、話したいなどきっかけは何でもいいです、一度学び舎あじまあに来てみませんか？

まだまだ、参加者募集中。やる気スイッチが入った時が、最大のチャンスです！！

お問い合わせは大宜味村教育委員会 ☎44-3006（担当：大城、倉持）まで。



楽しみながら大宜味の良さを知る 大宜味小 親子ふれ合いふるさと学習

10月25日（土）、大宜味小学校で親子ふれ合いふるさと学習がありました。

ふるさと学習は地域の方々が先生となり、ものづくりを通して地域の良さを学ぶものです。

1年生は藤田香苗さんからサンゴや貝殻を使ったランプシェードづくり、2年生は安里郁江先生から絵本作り、3、4年生は山川均さんから木工芸、5、6年生は平良澄子さん、金城笑子さんを先生に三月グァーシーとクファージュシーづくりを教えてもらいました。

2年生の絵本作りでは国語の授業でお話を作ったものに、親子一緒になって挿絵を加え、自分たちで製本。世界に1冊しかない自分だけの絵本を作ることができました。 男子、進んで厨房に入るべし

木工芸

表札や
おもちゃ
イスも
作りました



お母さんの方が夢中!?

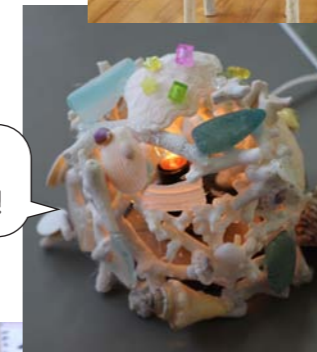
私のイス♡

三月グァーシー クファージュシーづくり



ランプシェード づくり

サンゴや貝殻が
素敵な飾りに大変身！



絵本づくり



お父さんたち真剣です

私だけの本
できました!!

共同作業で効率 up !

それぞれの体験を終えた後は、5、6年生が作った三月グァーシーとクファージュシーをいただき、お腹も心も満足のふれあい学習となりました。

大宜味小 あつさにまけず きらきらかがやけ 大宜味っ子!



喜如嘉小 燃える!みんなが主役だ きじょかっ子



4小学校 運動会



9月28日（日）、村内4小学校で平成26年度運動会が行われました。
 気持ちよく晴れた青空の下、児童たちはかけっこや玉入れ、綱引きに一生懸命取り組みました。
 特に中学生や保護者も一緒になって見せてくれたダイナミックな喜如嘉小の獅子舞、エイサー。低学年から高学年まで協力し、みんなの心が一つになった大宜味小の一輪車。難しい技にも笑顔で挑み、最後に見事なピラミッドを見せてくれた塩屋小の組体操。少ない人数ながらも三線、歌、手踊りも児童たちで披露し、圧巻だった津波小のエイサー。
 各小学校ともに独自の色を見せてくれ、応援に来てくれた家族や地域の方々をより一層盛り上げてくれました。



塩屋小 最後まで燃える 輝け 49 塩屋っ子 オー!



ハキハキ・ニコニコ・元気よく 津波っ子パワーでめざせ大成功!



村内のホッと活動をご紹介します♪

大宜味人の **ホッと** する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま〜」担当：倉持までご連絡ください。

「第41回国頭地区中学校陸上大会」

台風が接近していた10月4日（土）、名護市営陸上競技場で第41回国頭地区中学校陸上大会が開催されました。

総合10位を目標に掲げていた大宜味中。残念ながら、目標には一步届きませんでしたが、男子17位（17点）、女子14位（23点）、総合では16位（40点）となりました。

今年の取り組みは3年生が中心になり、猛暑の中、夏休みの練習も頑張りました。一人一人が自分との戦いに全力で挑み、苦しい時もあったと思いますが、そのハードルを乗り越えてきた皆さんの努力と忍耐を賞賛し、今後の生き方に大きな力になると信じます。

また、当日はテント設営など生徒指導部の皆さんの協力にも感謝いたします。

選手、応援リーダー、応援団、先生方、全員がそれぞれの役割をしっかりと果たすことができたのではないのでしょうか。大変お疲れ様でした。



次は地区駅伝大会。皆さんの力を結集して、頑張らしましょう!!
今回の地区陸上で2年生の花城瑞姫さんが400mリ

青田 春子



今年もやってきます!!

大宜味村移動図書館



日時：平成26年11月29日（土）午前10：30～午後4：00

会場：大宜味村農村環境改善センター 2Fホール

貸出冊数：1人10冊まで



★絵本・紙芝居・児童書・図鑑・小説・料理・子育て・医療・生活など
500冊以上の本がやってきます!

★読みたい本が手に届く!

本のリクエストを受付しています。子どもから大人までだれでもリクエストできます。

本のリクエストは11月19日（水）まで

詳しいことにつきましては大宜味村教育委員会（担当：宮城）まで

☎0980-44-3006 FAX0980-44-3029

大きくなって戻っておいで、塩屋のタマン 塩屋小でタマン稚魚放流

10月7日（火）、大宜味村環境・生態系保全組織のイベントで沖縄県栽培漁業センター協力の元、塩屋小学校と宮城新昌氏の顕彰碑（屋古）の前2か所で合わせて約3000匹のタマンの稚魚が放流されました。



塩屋小では放流前に、沖縄県栽培漁業センターの狩俣洋文さんからタマンについて教えてもらい、稚魚を放流することで命の大切さを知ってほしいという思いを伝えられました。

初めはどの子も稚魚の扱いにおっかなびっくりで、波打ち際に放流して稚魚が浜に上がってしまったり、バケツを一気にひっくり返して稚魚を驚かせてしまったりしましたが、次第に扱いにも慣れ、戻ってきた稚魚を海に優しく帰したり、バケツをゆっくり傾けることで優しく放流できるようになりました（魚でもないのに、なぜかびしょびしょに濡れている子も何名かいましたが、それはご愛嬌♪）。

放流を終え、2年生の宮城心美さんは「今日、タマンの放流を体験して命の大切さがわかった。」と感想を発表してくれました。

沖縄では高級魚とされ、県民にも親しみのあるタマンですが、大きな魚に食べられてしまったり、環境に合わせられず死んでしまったりして食べられるサイズになるまで成長する個体はわずかです。今回放流した稚魚が大きくなって塩屋湾に帰ってくることを祈るばかりです。

くれぐれも、すぐに釣ってしまうことのないよう、温かく見守ってください。お願いします<(_)_>

友達のお話に引き込まれて…

第39回大宜味村童話・お話大会

10月24日（金）、喜如嘉小、塩屋小において第39回大宜味村童話・お話大会が開催されました。低学年の童話では会場に響き渡る大きな声で登場人物になりきり、身振り手振りを交えながら話す童話に聞いている児童たちもお話の世界に引き込まれました。



各学校を代表して壇上にあがった児童たちは緊張しながらも、堂々と発表し、応援する児童たちもとてもいい姿勢で話を聞いていました。

☆最優秀賞者☆

低学年

塩屋小3年 石垣希里斗くん

塩屋小3年 真栄田楓夏さん

高学年

喜如嘉小5年 宮城 健大くん

津波小6年 仲宗根 舞さん



甲乙つけがたい発表でしたが、最優秀賞は以上の4名に決定しました。地区大会でも頑張ってください!!

塩屋小タマン稚魚放流・村童話・お話大会



ドワーチユイムニー（独り言）

友寄景善

中学三年生のクリスマス頃の、今も住んでいる上原区は長い灯油ランプ生活を終え、やっと昼夜電燈が灯った。四三年前のことで、全島電化事業（？）が進められ、二四時間電化が実現した。文字通り明るい正月を迎えることで嬉しさは倍加した。

住んでいた家は、沖繩の昔ながらの木造瓦屋根造りであった。ガラス戸、障子やフスマはなかった。台所は土間で、土と石でかまどが二〜三、造られていた。蛍光灯が点くようになったので、スズで真っ黒になった屋根裏の瓦、梁や桁、そして壁や柱の黒ずみが鮮明になった。これまでは灯油ランプで暮らしてきたので気がつかなかった。急に明るくなり、見えないものまでがよく見えるようになった。

我が家は普段、灯油ランプ二つで暮らしていた。一番座と二番座の間に一つ。台所に一つ吊り下げていた。ホヤの掃除は子供の役目であった。夕方になると、息をハァーハァー吹きかけ、ちり紙を手に取り、前夜についたススをぬぐい去った。小学校高学年になると、ホヤの中に手が入りきれなくなり、棒の先（お箸）にちり紙を巻いて掃除した。その時間帯に流れるラジオ番組、『歌の巡航船』（？）を聴きながらホヤを拭いていたのを今でもよく覚えてる。

学校での授業中に、隣に座る同級生から「昨夜勉強しただろう」と聞かれた。「何故」と、聞き返すと、教科書にろうそくのロウが付いているとのことであった。自宅で勉強する時には、兄弟五人一緒の勉強部屋に、特別にランプが追加された。それでも手元は暗いのでろうそくを立てた。ロウが付いたことも気づかないほどの明かりであった。

今年度のノーベル物理学賞に、青色LEDを開発した日本人三人が決定した。「二〇世紀中には無理」と言われたものを同世紀中に開発、製品化にこぎつけた。研究者の姿勢に驚嘆し、照明技術の恩恵に浴しているさなか、灯油ランプの時代を思い出してみた。

今月の生きもの



タイワンシログシラ：ヒヨドリ科

ハイサイ♪私タイワンシログシラです。もう沖繩に来て大分経つのでしまくとぅばも板についてきました。名前の通り、私は台湾出身です。沖繩にはもともといなかったのだけれど、飼われていたものが逃げ出したり、野外に放逐されたりして、今みたいに分布を広げ沖繩島では普通に見られる鳥になりました。日本の侵略的外来種ワースト100なんかに選ばれちゃって不名誉です。好きで来たわけじゃないのに…

～編集後記～

暑さもやわらぎ、過ごしやすい季節になりました。と思ったら、もう11月です。今年は大型台風に見舞われ、台風慣れしている沖繩人にとっても脅威を感じるものではなかったでしょうか。やっと落ち着いた空。いつまでもこの心地よい気候が続いてくれたらいいのになと思います。

11月の行事予定

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1日（土）国頭地区中学校駅伝大会 | 14日（金）秋の遠足（幼稚園） |
| 家庭学習強化期間 10月～11月 | 15日（土）国頭地区ミニバスケットボール交歓会 ～16日 |
| 2日（日）塩屋小「わくわく塩屋っ子タイム」 | 16日（日）国頭地区中学校総合文化祭 |
| 3日（月）文化の日 | 17日（月）振替休日（大宜味中 11/16） |
| 4日（火）区長会 振替休日（塩屋小 11/2） | 22日（土）沖繩県民体育大会～23日 |
| 5日（水）県広域地震、津波避難訓練 | 23日（日）勤労感謝の日 |
| 8日（土）わんぱく④閉講式 | 24日（月）振替休日 |
| 第26回 ツールド・おきなわ ～9日 | 30日（日）学芸会（喜小・大小） |
| 13日（木）幼・小・中一斉授業参観日② | 学習発表会（津小） |

